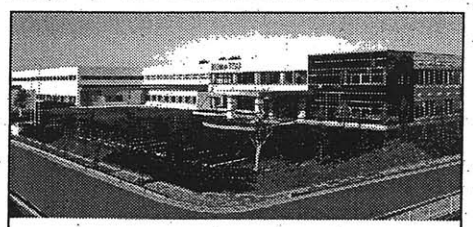
グローカル しまね

世界アジア日本 島根

グローバルに活躍する島根県の企業

小松電機産業株式会社



本社
〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内
TEL(0852)32-3636 FAX(0852)32-3620
HNS人間自然科学研究所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル9F
TEL(03)5408-7518 FAX(03)3435-1238
URL http://www.komatsuelec.co.jp
webmaster@komatsuelec.co.jp

ベンチャー企業として全国的に知られる小松電機産業（本社・島根県松江市）。高速シートシャッター「門番」や、インターネットを活用した上下水道遠隔監視・制御システム「やくも水神ネットワーク」などのヒット商品で山陰・出雲から国内外に情報発信する。景気低迷、金融不安が続き、進むべき方向が見えない経済情勢となっているが、同社の小松昭夫社長にこれからの企業の在り方などについて聞いた。（聞き手は小林成明・毎日新聞松江支局長）

――日本経済の低迷が叫ばれて久しく、かつての経済大国という意識も薄れています。どこに根本的な原因があると。

小松　東西冷戦の終焉と米国主導のグローバリズムの進展により、国内外の環境が激変したことが表面的な原因と考えている。その裏にもっと本質的な問題が隠れている。その入り口は「災い転じて福と為す」という視点から「環境・健康・平和」の三大テーマを総合的に捉える中から、国家経営、地域経営、企業経営、個人の人生設計のあるべき姿までもが見えてくるのでは。付焼き刃的対策では益々事態が悪化するばかりだ。

――小松社長は歴史から学ぶ、いわば温故知新をしばしば口にされますが、最初に入社した企業の倒産から学んだものは。

小松　地域文化・社会インフラと、企業の業態・規模の整合性が、企業の持続的生存にとって最も重要。前年を上回る売上高追究経営の怖さを学んだ。今、目指していること、行動していることが、自分、家族、会社、社会、そして人類の歴史にとってどんな意味があるのか考えて行動することが大事。すなわち現実と本来あるべき未来の姿との論理的合理性、一言で言えば大局観をもつこと。

――山陰など地方での企業活動へのアドバイスは。

小松　どういう立場で、どこで生きるにせよ、現実を直視、地政学と歴史から考察、未来を描くことが不可欠。人は時間、空間、人間（じんかん）の三間にしか生きられない。その地の自然環境、歴史、社会基盤、そして文化を総合的に研究、最先端の科学技術を組み合わせ徹底的に議論すれば、その時代、その地で果たすべき役割が浮かび上がり、知恵が生まれ、進むべき方向が見出せるはず。企業の繁栄、経済の活性化はこの結果である。

――経営理念をいかに持つべきか、ということですか。

小松　昨今は口を開けば、「創業だ」「ベンチャーだ」「研究開発型企業だ」などと盛んにいわれるが、費用対効果を考えれば圧倒的にマイナスのほうが多いのでは。二宮尊徳翁の「理念なき経済は罪悪、経済を伴わない理念は戯言」という言葉が今ほど重要なときはない。政治、経済は何のために存在するか、というところから考えれば自ずと本質が見えてくる。政治経済の根本である「信」が崩れ、不信がはびこり、近代社会の要である分業体制がゆらぎ、国債の大量発行が行われても、大量人員整理、企業倒産、金融機関破綻が日常茶飯事となり処方箋の全く見えない状況だ。その原因はいろいろあるが、「貸し借りはしない。やむを得ず借りた場合は、速やかに返す」というような原則が軽んじられてきたこと。また、今日の事態に至るまでの経緯が意図的に探求されてこなかった。その結果、虚業がはびこり、まともな人が生き難くなっている。現在のような状況に置かれたときこそ、「古きを温ね新しきを知る」「和而不同」。これまでの経緯を綿密に調査、徹底議論、競争と共生が矛盾なく両立できる文化を生み出すためのシーズ（種）を探り、ニーズ（需要）を創造することが肝要。

◆小松昭夫プロフィール

小松電機産業株式会社　代表取締役
財団法人 人間自然科学研究所　理事長
協同組合 テクノくにびき　理事長
中国 孔子文化大学　客員教授

1944年　島根県八束郡八雲村で生まれる
1963年　佐藤造機株式会社入社 中央研究所において農業機械の研究開発に関わる
1973年　小松電機産業設立 ポンプの修理販売、電機制御盤の製造をはじめる
1985年　シートシャッター「門番」開発、全国展開をはじめる
1992年　上下水道制御監視管理システム「やくも水神」開発、発表
1994年　人間自然科学研究所設立、「二村志遠動」提唱、治水の偉人顕彰事業開始
1997年　「戦争と平和記念館」訪問団派遣事業開始（1997年韓国独立記念館・2001年中国抗日戦争記念館・2002年中国台兒荘大戦記念館）
1998年　韓国赤十字社を通じ北朝鮮貧民支援金500万円を贈る
1999年　12年の歳月を掛け構想した「太陽の国ーZUMO」出版
2002年　日中英対訳「論語」出版 「孔子」「老子」治水の偉人「周藤彌兵衛」「清原太兵衛」4体の銅像制作

◆受賞記録◆
1990年　中小企業研究センター賞
1991年　ニュービジネス大賞
1992年　優秀経営者顕彰 地域社会貢献者賞
1995年　科学技術庁長官 注目発明選定賞
1996年　地域活性化貢献企業賞